

とやまのたから 2016

—観て・聴いて・体感する、地域の「たから」—

砺波

TONAMI



「^{でまち}出町子供歌舞伎曳山」

南砺

NANTO

「^{ごかやま}五箇山民謡」

胸躍る出町子供歌舞伎

心に沁みる五箇山民謡



「まち」の未来を
祭り・芸能を通して
子や孫に託した
先人たちの知恵と想い



「とやまのたから」は、富山県公立文化施設協議会と共同で開催する「ふるさと富山推進事業」で、富山県の貴重な文化遺産を県内外に広く紹介する公演です。

今回は、砺波市と南砺市五箇山地方で古くから大切に受け継がれてきた無形文化財「出町子供歌舞伎曳山」と「五箇山民謡」です。

内容

五箇山民謡披露 麦屋節、お小夜節、こきりこ
出町子供歌舞伎曳山芝居披露 [芸題]恋女房染分手綱・重の井子別れの段
終演後 とやまのたから記念餅まき
ロビーにて砺波と南砺の紹介ブース(観光案内や物産販売など)

出演/五箇山民謡清流会(平高校郷土芸能部OB会)、中町曳山会 司会/下澤弥生

2016年 **5月3日[祝]** 15:00開演(開場60分前)

砺波市出町子供歌舞伎曳山会館

全席自由 **500円** [高校生以下無料]

■プレイガイド/砺波市出町子供歌舞伎曳山会館・砺波市文化会館・南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座・五箇山総合案内所
アーツナビ(新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール)

主催/砺波市出町子供歌舞伎曳山会館
後援/富山県・富山県公立文化施設協議会・北日本新聞社・となみ衛星通信テレビ
アドバイザー/小野木豊昭(富山県公立文化施設協議会 市町村館支援事業アドバイザー)

tonami-cci.jp/hikiyama/

とやまのたから 2016

—観て・聴いて・体感する、地域の「たから」—

砺波 × 南砺

「出町子供歌舞伎曳山」

「五箇山民謡」

富山県の西部、砺波市と南砺市に古くから伝わる伝統芸能「出町子供歌舞伎曳山」「五箇山民謡」。

これは「無形文化財」として何代にもわたって受け継がれてきた「たからもの」です。

これを育み絶やすことなく守ってきたのは、そこに暮らす人々が、子や孫に地域の継承と繁栄を託す心です。

今もその「たから」は地域に息づき、そこに暮らす人々に大きな輝きを与えています。

富山の誇るべき「たから」を、これまで大切に受け継いできた人々の想いを感じてください。

出町子供歌舞伎曳山

長い冬が終わり桜前線が北上し始める頃、街の一角から優雅な三昧の音と子供たちの熱心な稽古の声が聞こえてきます。二百年を超える永きにわたり「出町子供歌舞伎曳山祭り」は、となみ野に春の到来を告げる風物詩として親しまれてきました。子供たちは天明年間に建造された曳山の舞台上で歌舞伎を演じることで、地域に貢献することの大切さや生まれ育った町への想い「出町の心」を受け継いでいきます。



砺波市出町子供歌舞伎曳山会館

南砺

「五箇山は民謡の宝庫」と言われ、いつの頃誰がうたい始めたものなのか、どこから来てどのように広がっていったのか定かでないものがたくさんあります。五箇山の民謡は口頭伝承によって受け継がれ、風土とともに発展してきた文化遺産です。もっとも代表的な「こきりこ」や「麦屋節」は無形文化財に指定され、うたい踊り続けることによって守られ、時代を超えて五箇山に息づいています。

五箇山民謡



TEL. 0763-32-7075 砺波市出町中央5-4

※掲載写真はイメージです。